

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「社会と共存する魅力的な軽水炉の展望」調査専門委員会
開催日時	平成 27 年 3 月 3 日(木) 10:00~12:30
開催場所	東京大学工学部 8 号館 502 講義室
参加人数	<p>【委員 14 名】山本主査(名大)、山口幹事(東大)、岡本幹事(東大)、越塚幹事(東大)、宇井委員(電中研)、糸井委員(東大、途中出席)、黒崎委員(阪大)、佐治委員(MHI)、石井代理(日立/木藤委員代理)、溝上委員(東電)、岡村委員(東芝)、近藤委員(東大)、吉津委員(MHI)、成川委員(JAEA)</p> <p>【常時参加者 2 名】田中氏(JNFL)、神谷氏(原電)</p> <p>【オブザーバ 1 名】藤田氏(AESJ)</p> <p>【講師 2 名】佐藤 崇氏(東芝)、岡野 靖氏(JAEA)</p>
議 事	<p>1. 委員会の趣旨説明 山口幹事より本調査専門委員会の設立趣旨について説明がなされた。また、藤田氏及び山本主査から設立趣旨に関する補足説明がなされた。</p> <p>2. 各委員の資料説明及び議論 事前に提出された資料に基づき、軽水炉が備えるべき社会的受容性及び技術的特性について、各委員及び常時参加者から説明がなされた。また、提出された意見をもとに、本委員会の議論の方向性に関して議論がなされた。社会的受容性が重要であることが各委員の共通した意見であったため、次回委員会では社会科学系の先生に軽水炉が備えるべき社会的受容性に関する講演をしていただき、議論する方向で検討することになった。</p> <p>3. GenIII+及び GenIV 炉設計の概要説明(講演)と質疑 東芝の佐藤氏より GenIII+炉の設計の概要について、また、JAEA の岡野氏より GenIV 炉の設計の概要について説明があり、これらについて質疑応答を行った。</p> <p>4. 次回日程と今後のアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局は社会科学系の先生を対象に軽水炉が備えるべき社会的受容性に関する講演を依頼する。</li> <li>・ 今回出された意見をもとに、本委員会で議論すべき論点について主査、幹事及び事務局で整理を行う。</li> <li>・ 今回の議論内容について意見やコメント等があれば、事務局に連絡する。</li> <li>・ 次回委員会の日程は事務局にて調整後、別途連絡する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	なし。